



仕事も家庭も結婚も…どうやってバランスをとればいいのか？

お茶の水女子大学 COSMOSシンポジウム

—女性にとって理想の職場を考える—

学生・教職員および本事業に関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

日時：2008年12月17日（水）13：00～17：00【入場無料】

会場：お茶の水女子大学 文教育学部1号館1F 第1会議室

本学で取り組んできた女性研究者支援プログラムの検証をもとに、これまでの活動と成果をご報告致します。また民間企業の事例を伺い、ワーク・ライフ・バランスについて意見交換を行います。

1. 開会挨拶 羽入佐和子 お茶の水女子大学 副学長 13：00～13：10
2. COSMOSの活動と成果報告 13：10～14：10
「COSMOS DVD」上映会
お茶大で活躍する女性の先生方の仕事・結婚・子育てを取材したDVDを上映します。
「お茶大インデックス」提案
女性が安心して働ける職場の条件は？
お茶大での検証をもとに、理想の職場をはかる指標「お茶大インデックス」を作りました。
3. 講演 14：20～14：50
『主役力』を高める ～時間管理でワーク・ライフ・バランスを楽しもう～
講演者：佐々木かをり氏 (株)イー・ウーマン 代表取締役社長
URL <http://www.ewoman.co.jp/> (裏面参照)
メディア等で話題の佐々木氏にお話を伺います。
4. パネルディスカッション 14：50～16：30
「自分らしいワーク・ライフ・バランスの作り方」
ソニー(株) 人事部門ダイバーシティ開発部 伊藤理恵氏
(株)野村総合研究所 保険ナビゲーション営業推進部 辻桃代氏
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 水村真由美准教授 (順不同)
5. ネットワーキング 16：30～17：00 (終了予定)

最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www.cf.ocha.ac.jp/cosmos/>
お申込み・お問合せ

E-mail frsp-event@cc.ocha.ac.jp

Tel・Fax 03-5978-5520

主催：国立大学法人お茶の水女子大学
女性研究者支援プログラム(COSMOS)推進室

Career Opportunity Support Model
from Ochanomizu Scientists

共催：国立大学法人お茶の水女子大学
女性リーダー育成プログラム



東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学

- ◆ 東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅下車
- ◆ 東京メトロ有楽町線 護国寺駅下車
- ◆ 都営バス 都02 大塚二丁目バス停下車
- ◆ 都営バス 急行02 大塚三丁目バス停下車

講演者：佐々木かをり氏

「主役力」を高める ～時間管理でワーク・ライフ・バランスを楽しもう～



佐々木かをり氏 ご紹介

(株)イー・ウーマン 代表取締役社長
(株)ユニカルインターナショナル 代表取締役社長
上智大学卒業後、87年に(株)ユニカルインターナショナル、
2000年に(株)イー・ウーマンを設立。政府の審議委員のほか、
上場企業のアドバイザーボードをつとめる。多摩大学客員教授。
著書多数。2児の母。

お茶の水女子大学

文部科学省科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成プログラム (H18-20年度)
「女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築」

COSMOS

Career Opportunity Support Model
from Ochanomizu Scientists
仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) を
実現して、充実した研究生生活を送れるようなシステム
開発を目指しています。

事業内容

女性研究者がすぐれた研究成果を上げるためには、どのような支援が必要かつ効果的でしょうか。
この事業では、学内にモデル研究者を募り、研究補助者をつけたり、子連れで利用できる宿泊施設を設けたりと、新しいアイデアを次々と実践しています。その結果の分析と検証をもとに、子育て中の女性研究者が働きやすい環境をはかる指標「お茶大インデックス」を作成、社会に発信していきます。

お茶の水女子大学では、一人ひとりが充実したワーク・ライフ・バランスを実現できるようなシステムの構築を目指しています。

情報支援

情報バンクの設置

女性研究者を支援するための情報の
収集・蓄積・発信

研究補助者の情報

本学卒業生を中心に研究、事務、保育の分野での
支援者の情報を蓄積し、提供します。

HPの運営

本プロジェクトに関連したイベント情報や子育て情報を
掲載しています。

ロールモデル情報の収集

本学教員や卒業生などの女性研究者 (ロールモデル)
情報を収集し、研究者を目指す人々に発信しています。

ロールモデル DVD 作成

子育てをしながら研究する魅力、
DVD を作成して発信します。

研究教育支援

研究環境の整備

研究者を取り巻く環境を整備

心おきなく帰宅できる体制の整備

本学に勤務する教職員が定時に心おきなく帰宅できる
体制 (19時～5時体制) を整備しています。

研究補助者の配置

小学生以下の子どもをもつ女性研究者に研究補助者 (各2
名) を配置し、研究を効率化する方法を検証しています。

子ども同伴の宿泊施設の整備

学会や研究会が連日行われる時などには、いずみナースリー
(学内保育所) と隣接した宿舎に子どもと宿泊することができます。

メンター制度の導入

本学の経験豊富な教員がメンター (助言者、相談者) となり、
女性研究者をエンカレッジ (激励) しています。

意識啓発

交流会・講演会・ シンポジウムの開催

仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の
実現と次世代の育成

情報交換会

女性が仕事を続けるコツや、男性の子育てなどを話題に
意見交換や情報交換を行っています。

サイエンスフェスティバルの開催

女子中高生向けに講演会や相談会を開催し、次世代育成
のための活動を行っています。

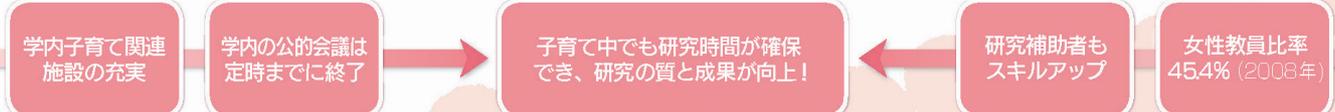
シンポジウムの開催

本学独自のシンポジウムのほか、この女性研究者支援
事業や女子中高生理系進路選択支援事業を行っている
機関との合同シンポジウムも実施しています。



- 1 講演会
ブックレット
「ワーク・ライフ・バランス
を目指して」
- 2 サイエンス
フェスティバルポスター
(五女子大共催企画)
- 3 COSMOS パンフレット

● 本プログラムの実施により、大学内のシステム改革が行われ、様々な効果が認められました!



女性が働きやすい環境であるかを評価する「お茶大インデックス」を作成